

比較家族史学会 報 比較家族史 11 会

事務局 〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学社会科学研究所 利谷研究室

第一四回研究大会プログラム

日時 十一月二十六日(土)・二十七日(日)

場所 橘女子大学 管理特別教室棟 二三四教室

(JR京阪山科駅下車・バス一五分あるいはタクシー一五分)

テーマ 家族と教育

【二十六日(土)】

□会長挨拶 永原 慶二

10:30

□自由報告

・明治八年太政官布告二〇九号達(法律婚主義)について

山中 至(熊本大学) 10:40~11:20

・教科書にみられる家族像—女大学・修身科・社会科・国語・家庭科の場合

久武 綾子(愛知教育大学)

11:35~11:55

□テーマ報告

・問題提示 井ヶ田良治(同志社大学・法制史)

13:00~13:30

・中世の家と教育

田端 泰子(橘女子大学・中世史)

13:30~14:00

・民衆の学習と家

布川 清司(神戸大学・思想史)

14:10~14:40

・近代日本における女子教育と家族

中嶋 邦(日本女子大学・教育学)

15:10~15:40

・家族教育の日米比較

正田 幸子(武庫川女子大学・教育学)

15:50~16:20

・ビクトリア時代イギリスの中流家庭での女子教育

河村 貞枝(富山大学・西洋史)

16:30~17:00

□懇親会 報告終了後

【二十七日(日)】

・ジャワ農村の家族と教育

黒柳 春夫(愛知学院大学・社会学)

10:00~10:30

・教育のペレストロイカ

関 啓子(二橋大学・教育社会学)

10:40~11:20

・現代中国における女子教育

張 麗華(復旦大学「中国」日本語学)

11:20~11:50

□総会

□シンポジウム『家族と教育』

13:30~17:00

運営委員 井ヶ田良治(委員長)・大竹 秀男

長谷川善計・脇田 晴子・牧田 勳

田端 泰子

※返信用ハガキは十一月五日までにお出し下さい。

問題提起「家族と教育」

井ヶ田 良 治

一、近代日本においては、家族も教育もともに国家の支配下に従属させられてきた。近代日本の学校教育をめぐっては、国家の支配と本来の教育努力との対抗があった。家族をめぐっては、忠良の臣民を育てる教育機能を家族に要求する動きに対し、本来の市民教育や階級教育や全人教育等を自主的に行おうとする家族の私的教育機能の対抗はなかったのである。国家主義教育の反省に立ったはずの現代日本において、教育の過程における家族の機能は、はたして、人類の遺産を継承発展させるために子どもの自由なる能力の発展を促進援助するものになっているだろうか。教育における家族の在りかたを反省することを通じて、家族の破壊現象や、日本型競争社会の教育不在の受験体制などの現代の病理の解明に接近したい。こうした関心から、一つには日本の歴史の各段階において、教育に果たして家族の役割を検討する。二つには、日本の近代・現代の姿を反省するために、諸外国の教育のなかでの家族の在りかたを共通の認識とする。

二、前近代社会においては、学校や寺院とならんで、家(家族)が主要な教育機関であった。年令階梯集団としての子供集団や若連中や、

とも関連して、家族はどのような役割を果たしていたのか。

(1)その際、階級・身分、都市と農村、職業の違いによって、家族のはたす役割はどのように異なっていたのか。それはまた家族の在りかたに影響したのか。

(2)父と母、さらに乳母や家庭教師の果たす役割は？とくに嬰兒・幼児教育にはたす女性の役割は？

(3)家族の人口史の実態や形態がその段階の教育とどうかかわっていたのか。

三、近代日本(学校制度の整備)の国家的教育体制のなかで、家族はどのように位置づけられていたか。

(1)家族の実学・技術教育機能の剥奪と臣民道德教育の下請機能化

(2)「家庭制度」の下での女子教育と良妻賢母教育の役割

(3)職業別・階級別の教育における家族の役割の差異

(4)現代の問題点

四、近現代日本の病理反省のための国際比較

研究大会に関連する連絡事項

1 懇親会について

懇親会は二六日報告終了後、橘女子大学新学生会館の食堂で行う予定です。費用は三、五〇〇円を予定しています。

2 弁当の予約について

弁当の予約を希望される方は、ハガキにてお申込ください。八〇〇円を予定しております。初日(二六日)は生協が開いておりますからそれをご利用いただけますが、第2日目(二七日)は休みとなりますので、なるべく弁当をご利用いただければと思います。

3 宿泊について

宿泊は各自予約してください。大学近くの東急インはすでに満室になっております。なお、交通公社予約センターでも宿舍の予約ができます。電話番号は次の通りです。

東京 ○三―四七七一五五五

仙台 ○二―二二二―一四四二二

名古屋 ○五―二一九五二―八五一

大阪 ○六―一三二四一―八〇一

福岡 ○九―二七七八一―七〇〇

広島 ○八―二二四五―二〇一

この外、共済関係の宿舍には次のような施設があります。

①白河院(私学共済)○七五―七六一―〇二〇一

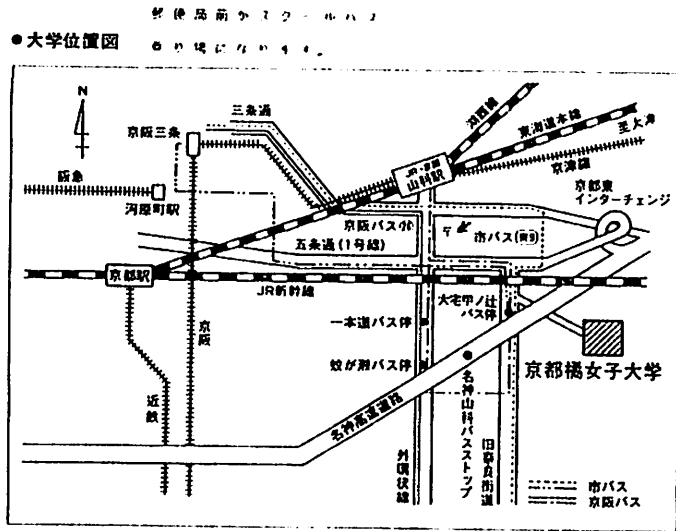
②洛翠荘(郵政) ○七五―七七二―一三五三五

③東山荘(連合会) ○七五―一五六―一二五九四

④京都トラベラーズイン

○七五―七七二―〇二三五/六

4 京都橘女子大学構内地図を同封いたしました。参考にしてください。



- JR山科駅より……京阪バス(9)系統 大宅甲ノ辻下車 東へ500m
- 京阪三条より……市バス(9)系統 大宅甲ノ辻下車 東へ500m
- 四条河原町より……市バス(9)系統 大宅甲ノ辻下車 東へ500m

分くらいです。なお、山科駅近くからスクールバスがでております。学会出席の旨お申し出いただければ、無料で利用できます。出発時間は八時四十分です。バス乗り場は山科駅から南へ約一〇〇メートル、郵便局前からです(地図を参照)。

東急インで宿泊を予定されている方は、二六日懇親会終了後及び二七日朝は東急インからマイクロスバスを出してくれるとのこと。

5 京都橋女子大学の住所・電話番号は次の通りです。

住所 京都市山科区大宅山田町三四
電話番号 ○七五―五七―一―一―一

事務局からのお知らせ

1 名簿について

名簿を同封いたしました。今回はコンピュータに入力したものをそのままの形で印刷をしましたので必ずしも仕上がりがきれいであるとはいえませんが、お許しただければと存じます。いずれの機会に、冊子に印刷をして配布したいと思えます。なお、名簿をご確認いただき、誤りがございましたら、恐縮ですが事務局までご連絡いただけます。

また、住所変更の届けをする場合には、面倒でも電話番号も一緒にお知らせいただければと存じます。

2 比較家族史研究第三号について

比較家族史研究第三号は学会会場(橋女子大学)にてお渡しできる予定です。昭和六三年度まで会費を納入されておりかつ研究大会欠席の方には大会終了後事務局からお送りいたします。

3 シリーズ家族史について

九月にシリーズ家族史3『氏一家の名・族の名・人の名』が発売されました。まだ、購入されていない方は三省堂へ直接申し込んでいただければと存じます。二割引、送料三省堂負担でお送りいたします。なお、一巻二巻につきましても同様の取り扱いをいたしますし、続巻につきましても同じ取り扱いをいたします。まだ、申込をされていない方は、よろしく願います。

ます。

〒一〇一

東京都千代田区三崎町二―二二―一四

三省堂 「シリーズ家族史」係

幹事会 議事録

日時 一九八八年六月十八日(土)
場所 専修大学

1 新入会員の承認

・別紙参照：新入会員名簿

2 比較家族史研究第三号について

・編集担当の奥山氏より報告
十月に発行の予定

3 第十四回研究大会について

・大会担当校橋女子大学田端泰子氏よりの挨拶
・日時 十一月十二・十三日(土・日)予定
・運営委員の組織

委員長 井ヶ田良治

委員 田端 泰子・大竹 秀夫

委員 脇田 晴子・森 謙三

・テーマ 家と教育

4 役員改選について

・幹事の改定

辞退者、永原和子については承認。脇田晴子氏については留任を要請する。

新幹事の推薦、田端 泰子(女性史)

田中真砂子(人類学)氏

・永原会長より役員の任期についての規約作成
小委員会を招集し秋までに検討することを提案

小委員会 利谷 信義・住谷 一彦

竹田 旦・江守 五夫

村武 精一・鎌田 浩

森 謙二・服藤 早苗

(事務局)

5. 学術会議について

・第二部 基礎法学の会員に利谷信義氏が決定
したことの経過報告

6. シリーズ家族史について

・三省堂 榎木氏より経過報告

一・二巻は順調な売れ行きだが続刊の為に
も売り上げに協力してほしい旨要請

三・四巻は九割が入校状況

五巻以降については執筆依頼を今後出し
続刊を予定

7. 第十五回研究大会予定について

・場所：大正大学

・日時：一九八九年六月予定

8. 総会の議長の選出

・担当校の鎌田浩氏に決定

総会 議事録

日時 一九八八年六月十九日(日)

場所 専修大学

議長 鎌田浩氏

1. 会計報告

・一九八七年度の決算報告：承認

2. 役員改選について

・新幹事：田端泰子(女性史)

田中真砂子(人類学)の承認

・役員任期規約について的小委員会設置

利谷 信義・住谷 一彦・竹田 旦

江守 五夫・村武 精一・鎌田 浩

森 謙二・服藤 早苗(事務局)

3. その他(報告)

・学術会議の経過報告

利谷信義氏の第二部の会員に当選されたこと
の報告

・シリーズ家族史刊行について

経過報告

八巻以降は改めて検討が必要

・第十四回研究大会について

場所 橘女子大学

日時 一九八八年十一月十二・十三日あるいは
十二月三・四日に変更の可能性

運営委員長 井ヶ田良治

委員 田端 泰子・大竹 秀夫・脇田 晴子

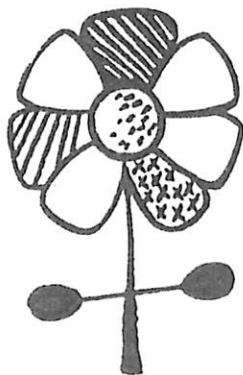
牧田 勲

・第十五回研究大会について

日時 一九八九年六月十・十一日(土・日)

場所 大正大学

運営委員 藤井 正雄 氏



比較家族史学会役員名簿

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 会 長 | 永原 慶二 (和光大学) |
| 副会長 | 有地 亨 (九州大学) 利谷 信義 (東京大学) |
| 顧 問 | 大竹 秀男 (武庫川女子大学) 高梨 公之 (日本大学) |
| | 中野 卓 (中京大学) 布村 一夫 |
| 監 査 | 大石慎三郎 (学習院大学) 黒木 三郎 (早稲田大学) |
| | 竹田 旦 (茨城大学) |
| 幹 事 | 歴 史 学 瀬野精一郎 (早稲田大学) 峰岸 純夫 (東京都立大学) |
| | 脇田 晴子 (鳴門教育大学) 大藤 修 (国立国文学資料館) |
| | 法 制 史 井ヶ田良治 (同志社大学) 鎌田 浩 (専修大学) |
| | 水林 彪 (東京都立大学) |
| | 社 会 学 上野 和男 (国立歴史民俗博物館) 老川 寛 (明治学院大学) |
| | 森岡 清美 (成城大学) 長谷川善計 (神戸大学) |
| | 正岡 寛司 (早稲田大学) |
| | 法社会学 江守 五夫 (千葉大学) 北条 浩 (帝京大学) |
| | 経 済 学 住谷 一彦 (立教大学) |
| | 人 類 学 村武 精一 (東京都立大学) 渡辺 欣雄 (武蔵大学) |
| | 田中真砂子 (お茶の水女子大学) |
| | 民 俗 学 福田アジオ (国立歴史民俗博物館) |

家族法 石川 利夫 (日本大学) 依田 精一 (東京経済大学)

女性史 関口 裕子 田端 泰子 (橘女子大学)

宗教学 藤井 正雄 (大正大学) 孝本 貢 (明治大学)

人口学 清水 浩昭 (厚生省人口問題研究所)

外国法 稲本洋之助 (東京大学) 三木 妙子 (早稲田大学)

社会史 山瀬 善一 (広島経済大学)

事務局

森 謙二 (茨城キリスト教短期大学-事務局長)

服藤 早苗 (東京都立大学-庶務担当)

山田 昌弘 (東京学芸大学-文献目録作成担当)

野村 育世 (早稲田大学大学院-会報・庶務担当)